

作業療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活	心理学 Psychology	必修	講義	30	(2)	30								自己や他者の心の世界を知り、自己分析や自己の治療的利用について学ぶ。患者とのより良い人間関係構築のための手法について理解できるようになる。	
		情報科学 I Information Science I	"	"	30	(2)	30								作業療法士として必要なコンピュータの基本操作、Word操作法の基礎を実践できるようになる。	
		情報科学 II Information Science II	"	"	30	(2)		30							作業療法実践に役立つExcel、PowerPointの基本的操作法を理解し実践できるようになる。	
		倫理学 Ethics	"	"	15	(1)		15							医療を中心とする道徳的判断の対象、義務について学ぶと共に生命倫理に関する意思の自由と責任について理解できるようになる。	
		人間関係論 Human Relations	"	"	15	(1)		15							作業療法士として必要なコミュニケーションの取り方、人間関係のあり方について学び実践できるようになる。	
		文章表現 Writing	"	"	30	(2)		30							作業療法士として必要となるレポート作成に関わる基本的な文章表現能力を身につけることができる。	
		健康科学 Health Science	"	"	15	(1)			15						運動、栄養、休養などを科学的理解の観点からヒトの健康について説明できるようになる。	
		レクリエーション概論 Compendium of Therapeutic Recreation	"	"	30	(2)			30						作業療法士に必要な集団療法としてのレクリエーションの基本概念を説明することができる。	
		医療英語 Medical English	"	"	15	(1)			15						作業療法士に必要な解剖学・運動学、リハビリテーションに関連する英単語、略語、英文解釈について学び理解できるようになる。	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖生理学 I Dissection Physiology I	"	"	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として骨解剖について説明することができる。	
		解剖生理学 II Dissection Physiology II	"	"	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として筋解剖について説明することができる。	
		解剖生理学 III Dissection Physiology III	"	"	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経細胞、筋生理について説明することができる。	
		解剖生理学 IV Dissection Physiology IV	"	"	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、感覚器、内分泌生理について説明することができる。	
		解剖生理学 V Dissection Physiology V	"	"	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として内臓器解剖について説明することができる。	
		解剖生理学 VI Dissection Physiology VI	"	"	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経解剖について説明することができる。	
		解剖生理学 VII Dissection Physiology VII	"	"	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経解剖について説明することができる。	
		解剖生理学 VIII Dissection Physiology VIII	"	"	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経解剖について説明することができる。	
		機能解剖学 I Functional Anatomy I	"	演習	30	(1)			30							基本動作に伴う人体の運動機能について解剖学の筋の作用の視点から理解できるようになる。
		機能解剖学 II Functional Anatomy II	"	"	30	(1)				30						起居移動動作に伴う人体の運動機能について解剖学の筋の作用の視点から理解できるようになる。
		人間発達学 Human Development	"	講義	30	(2)			30							人間に対する理解の基礎とし、各段階における身体と運動機能の発達、知的・心理的・社会的発達、人格の発達について説明できるようになる。

作業療法士学科(夜間部)

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	運動学 Kinematics	必修	講義	30	(2)				30				人体の解剖・生理学的理解を基に、人体の運動器の正常運動特性について説明できるようにする。
		運動学実習 Kinematics Practice	〃	実習	30	(1)					30			運動学で学んだ正常運動の特性を基に動作分析の視点からヒトの基本動作について理解できるようにする。
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学 Clinical Psychology	〃	講義	30	(2)			30					臨床心理学の対象と方法、心理機能の異常、心理的適応、心理療法、カウンセリングの理論と技法等を学ぶ。
		病理学概論 Pathology	〃	〃	30	(2)			30					生体に起こる病的障害の原因、成立過程及び結果を正しく把握し、生体の刺激に対する組織的変化、機能的変化を説明できるようにする。
		内科学 Internal Medicine	〃	〃	30	(2)				30				臨床医学の面から基礎的医学知識を整理し、各臓器・組織系統の疾患や、病因、診断、治療についての概要を説明できるようにする。
		神経内科学 Neurological Internal Medicine	〃	〃	30	(2)				30				神経症候学、神経内科、脳神経外科領域でみられる疾患・障害の基礎的知識について説明できるようにする。
		整形外科学 Orthopedic	〃	〃	30	(2)				30				外科系臨床医学で、骨・関節・筋・靭帯・末梢神経等、運動器疾患を扱う分野の各病態、診断や治療、予後等の概要を説明できるようにする。
		小児科学 Pediatrics	〃	〃	30	(2)				30				小児の成長・発達と小児によくみられる各種疾患などの基礎的特異性を説明できるようにする。
		精神医学 Psychiatric Medicine	〃	〃	30	(2)				30				行動観察と症状の把握、治療者と患者の心理的関係など多角的側面から精神疾患について説明できるようにする。
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハ [®] リテーション概論 Compendium of Rehabilitation	〃	〃	30	(2)	30						
	リハ [®] リテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	30	(2)			30					リハビリテーションの対象となる主たる疾患の理解とリハビリテーション介入の基本について説明できるようにする。	
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業療法学実習 Basic Occupational Therapy Practice	〃	実習	30	(1)			30					作業療法の治療手段としての様々な作業活動を通して、基礎的知識、技術を習得し、治療的応用について実践できるようにする。
		基礎作業療法学 Basic Occupational Therapy	〃	講義	30	(2)			30					学問としての作業治療学成立の歴史的背景や構造などの基礎知識と作業分析や指導法などの基礎技法を説明できるようにする。
		作業療法概論Ⅰ Compendium of Occupational Therapy I	〃	演習	30	(1)		30						作業療法の基本的知識を学ぶとともに、事例演習を通じ思考力、態度を身につけることができる。
		作業療法概論Ⅱ Compendium of Occupational Therapy II	〃	〃	30	(1)			30					作業療法の理論、管理運営、研究、倫理について学ぶ。生活行為向上マネジメントのシートを用いて臨床事例をまとめ、臨床的思考を理解できるようにする。
		作業療法概論Ⅲ Compendium of Occupational Therapy III	〃	〃	15	(1)			15					生活行為向上マネジメントのシートを用いて臨床事例をまとめ、臨床的思考を理解できるようにする。
		作業療法研究法Ⅰ Occupational Therapy Research Method I	〃	演習	30	(1)					30			研究の必要性、研究デザインの考え方を学ぶ。卒業研究計画書の作成ができるようになる。
	作業療法研究法Ⅱ Occupational Therapy Research Method II	〃	〃	30	(1)						30		研究計画書を基に実験、データの収集、集計、処理及び結果の解釈を経て、論文作成、発表を行えるようになる。	
	作業療法評価学	作業療法評価学実習Ⅰ Evaluation Studies Practice I	〃	実習	30	(1)	30							作業療法評価の基本的概念を学ぶ。骨・関節・筋の知識を結びつけ関節可動域測定に関する知識・技術を実習を通じて身につける。
作業療法評価学実習Ⅱ Evaluation Studies Practice II		〃	〃	30	(1)				30				骨・関節・筋の知識を結びつけ徒手筋力検査に関する知識・技術を実習を通じて身につける。	

作業療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学実習Ⅲ Evaluation Studies Practice Ⅲ	必修	実習	60	(2)						60			面接法・観察法及び形態測定、バイタルサイン、感覚検査など作業療法評価に関する知識・技術を実習を通じて身につける。	
		作業療法評価学 Evaluation Studies	"	演習	30	(1)					30				作業療法評価の実践のため、評価計画立案、統合と解釈、治療計画立案など演習を通じて身につける。	
	作業治療学	発達障害治療学 Occupational Therapy for Developmental Disability	"	講義	30	(2)					30				発達障害に対する評価・作業療法治療を説明することができる。	
		高次脳機能障害治療学 Occupational Therapy for Cognitive Dysfunction	"	"	30	(2)					30				中枢疾患に関する高次脳機能障害の概念や評価、治療の基本を説明することができる。	
		老年期障害治療学 Occupational Therapy for Elderly Disabled	"	"	30	(2)					30				老年期の特性を知り、老年期を迎える対象者への作業療法評価法、治療法の基本について説明できるようになる。	
		身体障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Physically Disabled I	"	"	30	(2)					30				主に中枢疾患などの身体障害に対する作業療法評価、治療の基本を説明することができる。	
		身体障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Physically Disabled II	"	"	30	(2)						30			主に整形外科疾患、難病などの身体障害に対する作業療法評価、治療の基本を説明することができる。	
		精神障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Mentally Disabled I	"	"	30	(2)					30				精神疾患における作業療法評価法、治療法の基本を説明することができる。	
		精神障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Mentally Disabled II	"	講義	30	(2)						30			各精神疾患に対する具体的な評価、治療方法について説明できるようになる。	
		日常生活活動学 Activities of Daily Living	"	演習	30	(1)						30				対象者に発生する日常生活活動の問題やその原因の分析方法について理解し実践できるようになる。
		作業療法技術論 Occupational Therapy Technology	"	講義	30	(2)						30				代償機能・適応機能の基礎知識・技術として、義肢装具、リハビリテーション関連機器や家屋改造、日常生活活動について説明できるようになる。
		職業関連技術論 Job-related Skill	"	"	15	(1)							15			代償機能・適応機能等に関する基礎的知識・技術のうち、職業前評価・訓練について説明することができる。
		作業療法総合実習 Occupational Therapy Comprehensive Practice	"	実習	30	(1)							30			臨床実践に対応すべく実践的な能力を身につける。
		作業療法特論 Special Lecture	"	講義	30	(2)								30		最近の情勢の変化に対応すべく先進的な実践について説明できるようになる。臨床実習・国家試験に対応する実践的学習を行う。
		作業療法総合演習Ⅰ Occupational Therapy Integrated Study I	"	演習	30	(1)	30									少人数で各コースの特色に合わせ人間関係・主体性・学習態度を理解し、実践できるようになる。
		作業療法総合演習Ⅱ Occupational Therapy Integrated Study II	"	"	30	(1)			30							少人数で各コースの特色に合わせ人間関係・主体性・学習態度を理解し、実践できるようになる。
		作業療法総合演習Ⅲ Occupational Therapy Integrated Study III	"	"	30	(1)					30					少人数で各コースの特色に合わせ人間関係・主体性・学習態度を学ぶ。後輩育成を通じて、主体的学習態度理解し、実践できるようになる。
		地域作業療法学	地域作業療法学 Occupational Therapy for Community	"	講義	30	(2)						30			地域作業療法実践の基盤を築くため、地域における作業療法実践について説明できるようになる。
			地域医療論 Regional Medicine	"	"	30	(2)							30		最新の地域医療について実践例を通じて説明できるようになる。
		臨床実習	臨床実習Ⅰ Clinical Training I	"	実習	180	(4)						180			実際の現場にて指導者の指導の基、症例を担当し、評価計画の立案、評価の実施を行い、治療計画立案までを実践できるようになる。

作業療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨床実習	臨床実習Ⅱ Clinical Training Ⅱ	必修	実習	810	(18)							405	405	実際の現場にて指導者の指導の下、症例を担当し、評価・治療実施を行い、作業療法を総合的かつ実践的に実践できるようになる。
	その他	見学実習 Educational Visit	〃	実習	45	(1)			45						実習指導者の下で作業療法場面を見学し、対人援助職としての基礎能力及び作業療法の基礎的知識・技術・態度について実践できるようになる。
		国家試験演習Ⅰ Seminar for National Examination I	〃	演習	30	(1)		30							国家試験問題の出題方法及び骨(骨のランドマーク)・関節構造を学ぶ、自学自習方法「勉強の仕方・やり方」を理解・実践できるようになる。
		国家試験演習Ⅱ Seminar for National Examination II	〃	〃	30	(1)			30						国家試験受験に向けて、骨格筋と運動・支配神経の関連性について理解・実践できるようになる。
		国家試験演習Ⅲ Seminar for National Examination III	〃	〃	30	(1)					30				中枢神経疾患に関する国家試験問題の出題方法及び解剖学・生理学(血管・神経)について理解・実践できるようになる。
		国家試験演習Ⅳ Seminar for National Examination IV	〃	〃	30	(1)						30			国家試験における専門科目(評価学:感覚・反射・神経)領域に関連する神経・筋生理における基本的な解剖・生理学を理解・実践できるようになる。
		国家試験演習Ⅴ Seminar for National Examination V	〃	〃	90	(3)							90		国家試験合格に向けて出題の傾向と対策を分析し、心臓・呼吸器・中枢/末梢神経・嚥下の解剖・生理について理解・実践できるようになる。
選択分野	選択分野	国際医療福祉 International Medical Welfare	選択	実習	30	(1)							30	今後の作業療法士のあるべき姿についての思考を深めるため、他国の医療・福祉の現状、技術について理解することができる。	
		福祉住環境論Ⅰ Science of Welfare Residential Environment I	〃	講義	30	(2)				30				在宅における生活障害に対し、住環境的側面からの作業療法アプローチの視点を説明できるようになる。	
		福祉住環境論Ⅱ Science of Welfare Residential Environment II	〃	〃	30	(2)					30		在宅における生活障害に対し、住環境的側面からの作業療法アプローチの視点を説明できるようになる。		
		総時間数			3045	131	270	270	345	285	300	480	570	525	